

2026年3月期 第2四半期(中間期)決算

説明資料

2025年11月7日(金)

2026年3月期
第2四半期(中間期)決算概要

連結対象会社

項目	2025年3月期末 (A)	2026年3月期 中間期末 (B)	増減 (B) - (A)	摘 要
連結 子会社数	34社	45社	11社	+ LANXESS Solutions Australia Pty. Ltd. + SISTEMAS DE URETANOS DO BRASIL LTDA. + Urethane Systems Canada Ltd. + Chemtura China Holding Co., Ltd. + LANXESS Advanced Materials (Nantong) Co., Ltd. + Elfte LXS GmbH + LANXESS SOLUTIONS INDIA PRIVATE LIMITED + LANXESS Solutions Italy S.r.l. + LANXESS Sales Netherlands B.V. + LANXESS Urethanes UK LTD + URETHANE SYSTEMS USA LLC
持分法 適用会社数	17社	17社	—	
計	51社	62社	11社	

環境要因

項 目				2025年3月期 中間期 (A)	2026年3月期 中間期 (B)	差 異 (B) - (A)
為替レート		円/\$		152.6	146.0	△ 6.6
資材価格	ナフサ	CIF	\$/t	714	617	△ 97
		国産	円/KL	77,950	64,800	△ 13,150
	豪州炭 (CIF)		\$/t	162.0	139.0	△ 23.0
			円/t	24,726	20,299	△ 4,427

主要項目

(単位:億円)

項 目	2025年3月期 中間期 (A)	2026年3月期 中間期 (B)	差 異 (B) - (A)	増減率
売上高	2,430	2,127	△ 303	△ 12.5%
EBITDA	198	213	16	7.9%
営業利益	60	83	22	36.4%
経常利益	19	159	140	737.9%
親会社株主に帰属する 中間純利益	3	109	106	—

セグメント変更

旧セグメント	事業
機能品	ポリイミド 分離膜 セラミックス セパレータ フェノール樹脂 半導体ガス
樹脂・化成品	コンポジット ナイロンポリマー カプロラクタム・硫安 工業薬品 C1ケミカル <u>高機能コーティング</u> エラストマー
機械	
その他	<u>医薬</u> 電力 販社等

新セグメント	事業
機能品	ポリイミド 分離膜 セラミックス セパレータ フェノール樹脂 半導体ガス
<u>高機能ウレタン</u> (新規)	<u>ウレタンシステムズ(新規)</u> <u>高機能コーティング(異動)</u>
<u>医薬</u> (独立)	
樹脂・化成品	コンポジット ナイロンポリマー カプロラクタム・硫安 工業薬品 C1ケミカル エラストマー
機械	
その他	電力 販社等

セグメント別 売上高/営業利益

(単位:億円)

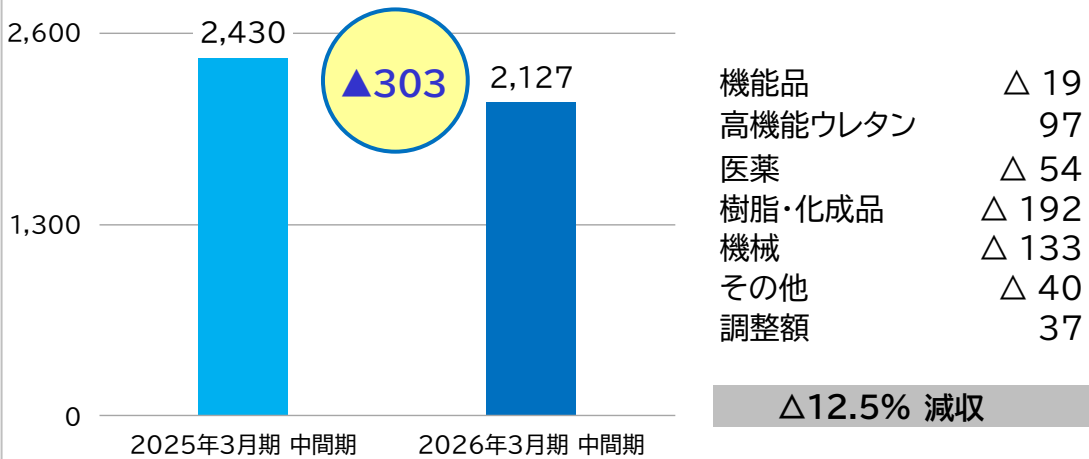
	セグメント	2025年3月期 中間期 (A)	2026年3月期 中間期 (B)	差 異 (B) - (A)	増減率
売上高	機能品	317	298	△ 19	△ 5.9%
	高機能ウレタン	74	170	97	131.4%
	医薬	159	105	△ 54	△ 33.9%
	樹脂・化成品	1,378	1,185	△ 192	△ 14.0%
	機械	430	298	△ 133	△ 30.8%
	その他	207	167	△ 40	△ 19.3%
	調整額	△ 133	△ 96	37	-
	計	2,430	2,127	△ 303	△ 12.5%
営業利益	機能品	50	43	△ 7	△ 14.3%
	高機能ウレタン	8	△ 6	△ 13	-
	医薬	7	△ 5	△ 12	-
	樹脂・化成品	△ 25	42	67	-
	機械	30	19	△ 11	△ 36.6%
	その他	10	10	0	0.8%
	調整額	△ 19	△ 21	△ 1	-
	計	60	83	22	36.4%

(注) 2026年3月期より、「機能品」「樹脂・化成品」「機械」「その他」の4区分から「機能品」「高機能ウレタン」「医薬」「樹脂・化成品」「機械」「その他」の6区分に変更しています。
 なお、2025年3月期中間期実績は、変更後の区分方法により作成したものです。

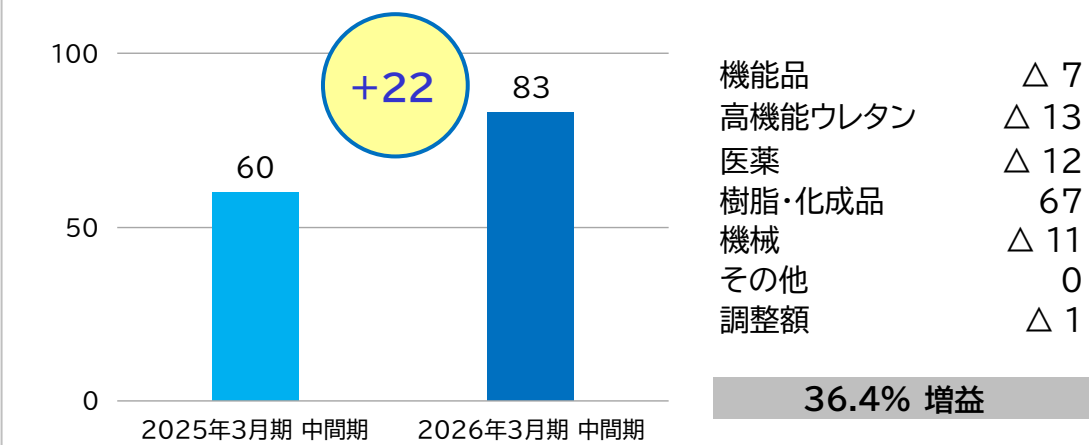
差異分析 全社

(単位:億円)

売上高



営業利益



定性情報

売上高:減収

- 樹脂・化成品 :ナイロンポリマー、カプロラクタム等の販売が低迷
- 機械 :前年度第3四半期に製鋼事業の経営権を他社へ譲渡し、連結対象から除外

営業利益:増益

- 樹脂・化成品 :アンモニア工場が非定期修理年であるため、補修費が減少し、販売数量も増加
- :エラストマーの原料価格が下落

営業利益差異

価格差 ※1 55

数量差 △ 24

固定費ほか ※2 △ 9

計 22

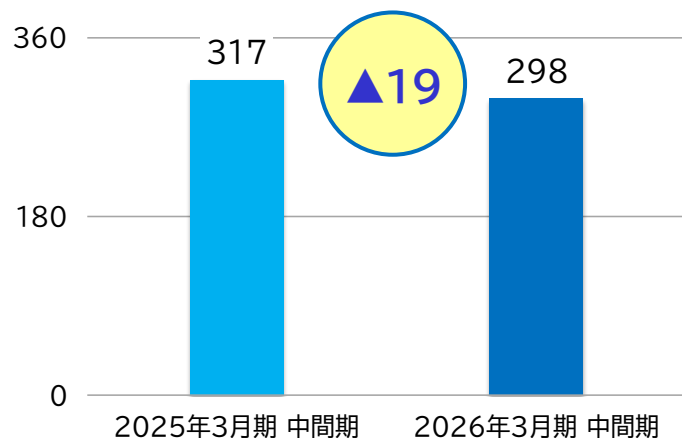
※1:資材単価差含む

※2:在庫評価差含む

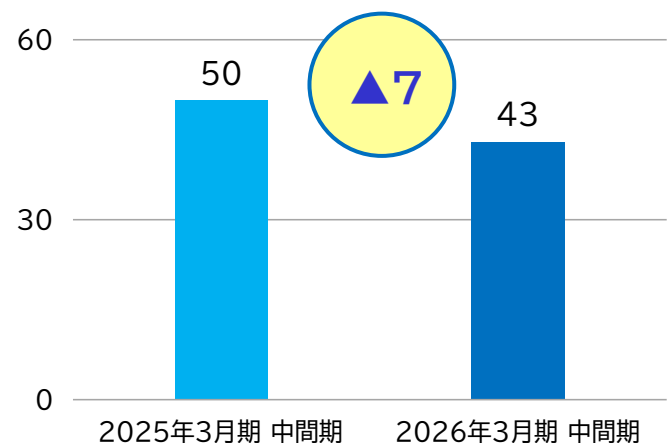
差異分析 機能品

(単位:億円)

売上高



営業利益



定性情報

売上高:減収

- ・ ポリイミド : スマートフォンの販売減少及び顧客の在庫調整の影響を受け、第1四半期にワニスの販売が低調に推移
- ・ 分離膜 : バイオメタン製造向け脱炭酸膜で一部顧客における在庫調整等の影響が継続
- ・ セラミックス : 電動車市場の成長鈍化により軸受・基板用途の販売が低迷
- ・ セパレータ : ハイブリッド自動車向けの需要増加等に伴い販売数量が増加

営業利益:減益

- ・ ポリイミド、分離膜、セラミックスの販売が低調

営業利益差異

価格差 ※1	15
--------	----

数量差	△ 19
-----	------

固定費ほか ※2	△ 4
----------	-----

計	△ 7
---	-----

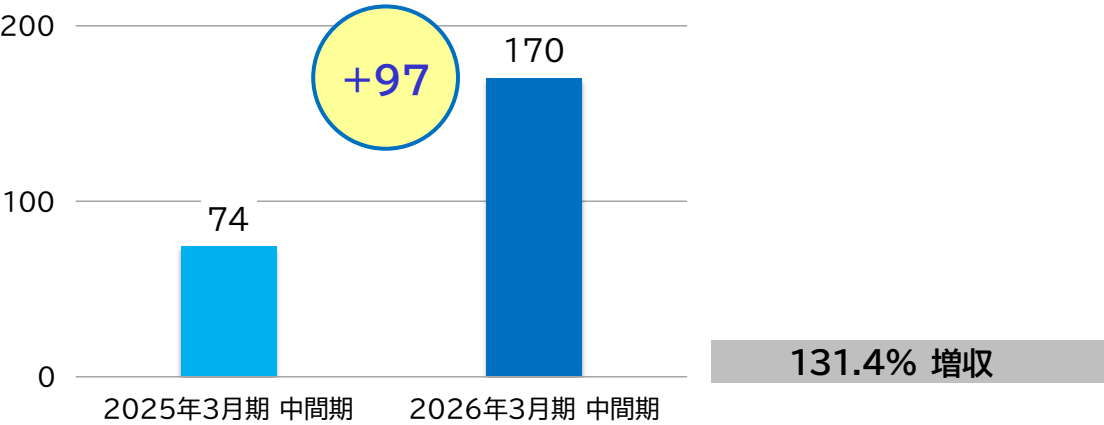
※1:資材単価差含む

※2:在庫評価差含む

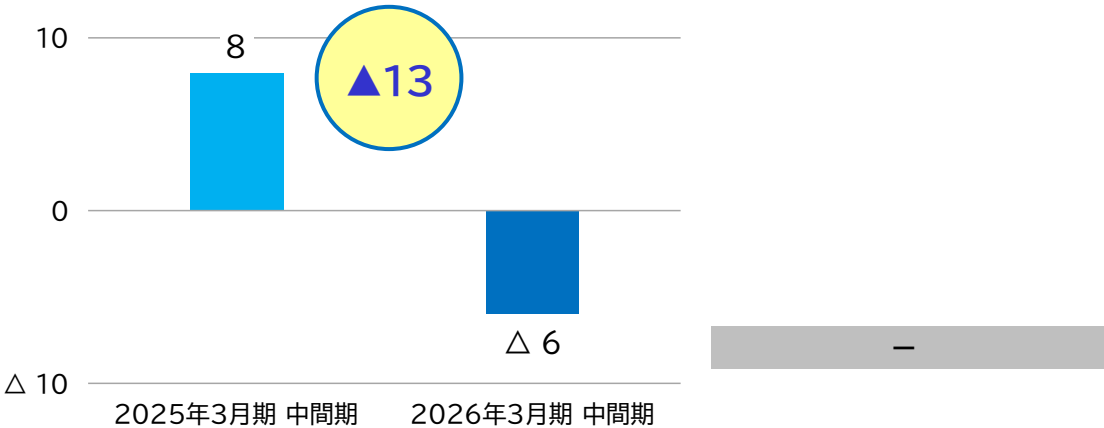
差異分析 高機能ウレタン

(単位:億円)

売上高



営業利益



定性情報

売上高:増収

- ウレタンシステムズ :2025年4月に事業取得。当事業を担う各社が12月決算であるため、4-6月期の業績が今年度第2四半期より連結損益に反映。米国市場を中心に販売は堅調。

営業利益:減益

- ウレタンシステムズ事業において事業取得後の統合(PMI)に係る費用を計上
- 高機能コーティングの販売が低調

営業利益差異

価格差 ※1 △ 10

数量差 △ 2

固定費ほか ※2 △ 2

計 △ 13

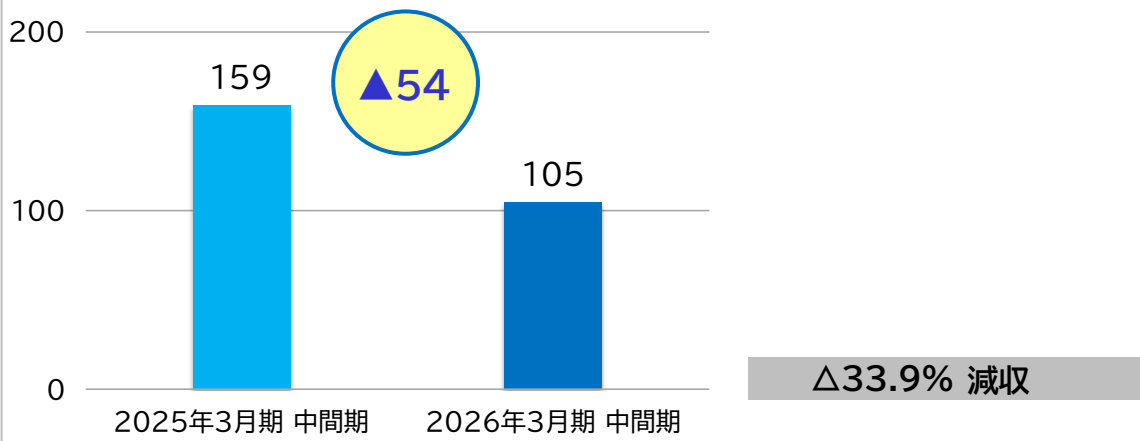
※1:資材単価差含む

※2:在庫評価差含む

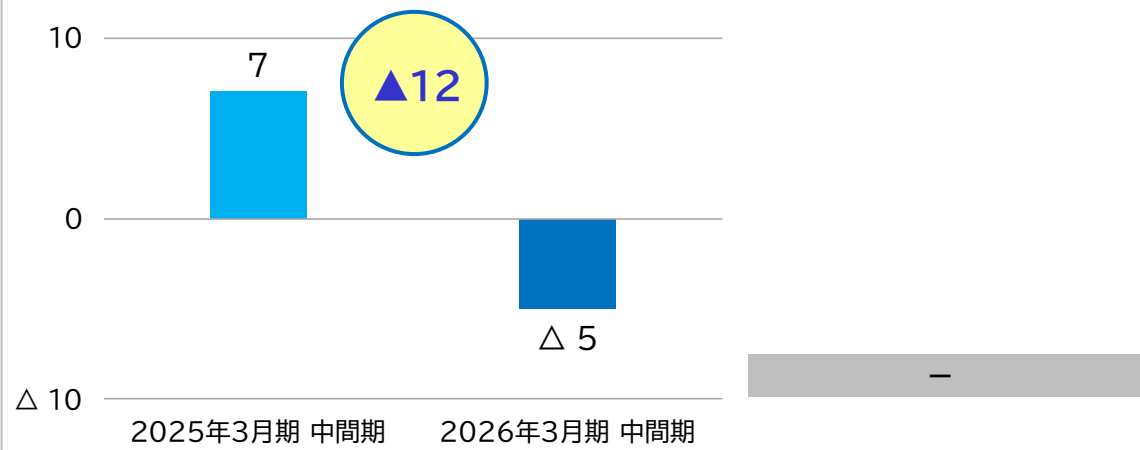
差異分析 医薬

(単位:億円)

売上高



営業利益



定性情報

- 売上高:減収
- 受託品の販売数量が減少
- 営業利益:減益
- 受託品の販売数量が減少

営業利益差異

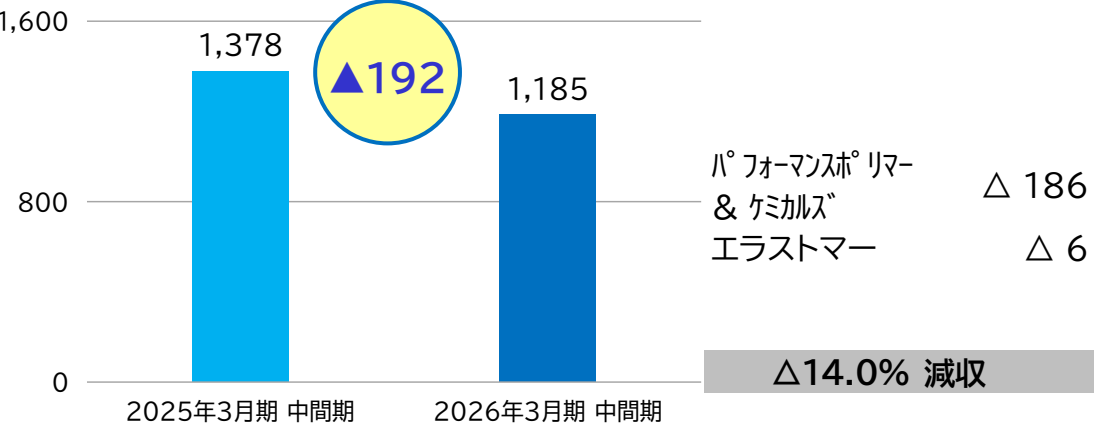
価格差 ※1	3
数量差	△ 14
固定費ほか ※2	△ 0
計	△ 12

※1:資材単価差含む
※2:在庫評価差含む

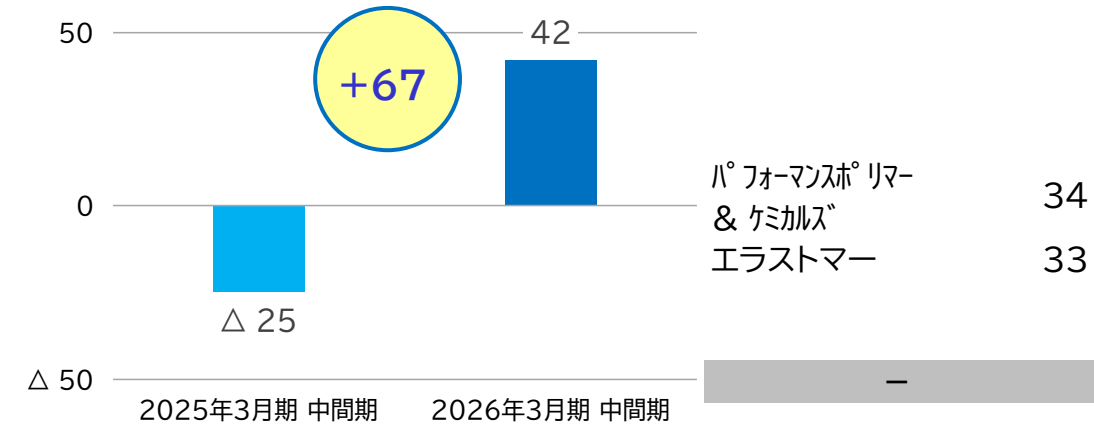
差異分析 樹脂・化成品

(単位:億円)

売上高



営業利益



定性情報

売上高:減収

- ・ ナイロンポリマー :海外での食品包装フィルム用途等の需要低迷による販売数量減少、販売価格下落
- ・ ラクタム・硫安 :競争激化による販売数量減少、販売価格下落

営業利益:増益

- ・ アンモニア工場が非定期修理年であるため、補修費が減少し、販売数量も増加
- ・ エラストマーの原料価格が下落

営業利益差異

価格差 ※1	59
数量差	8
固定費ほか ※2	△ 1
計	67

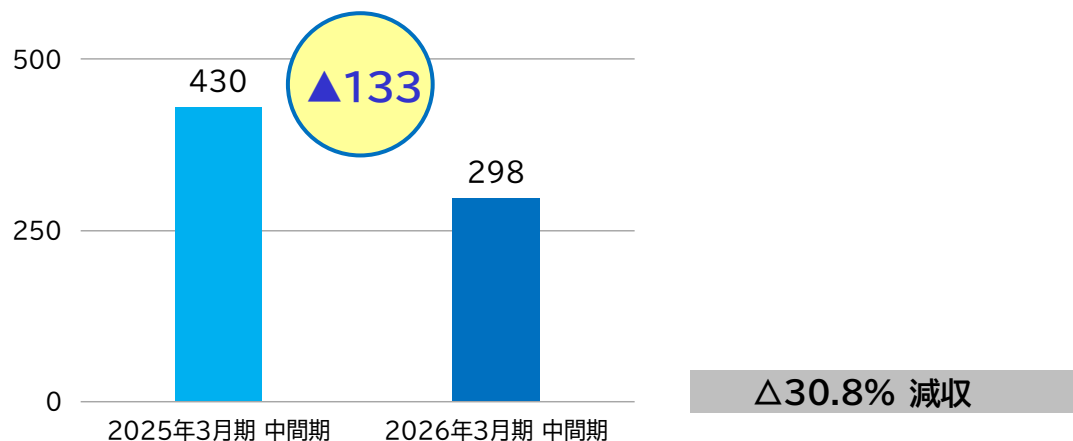
※1:資材単価差含む

※2:在庫評価差含む

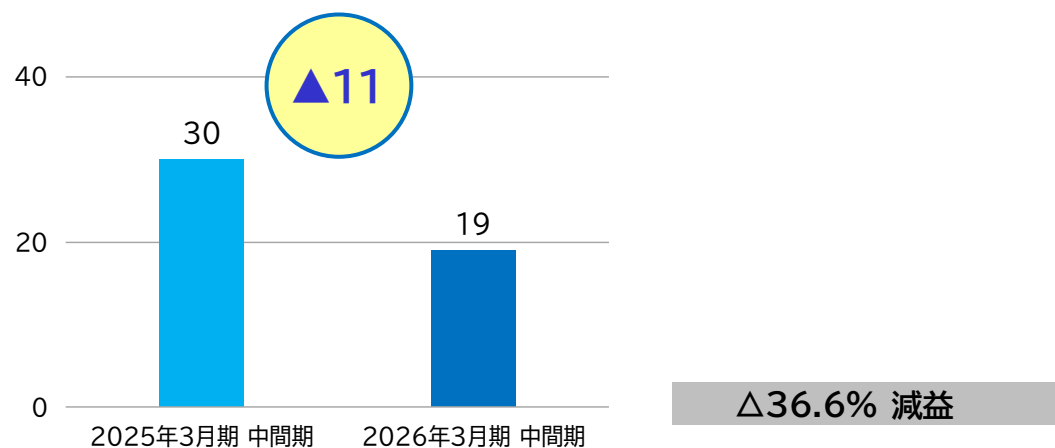
差異分析 機械

(単位:億円)

売上高



営業利益



定性情報

売上高:減収

- 前年度第3四半期に製鋼事業の経営権を他社へ譲渡し、連結対象から除外

営業利益:減益

- 産機事業の製品販売が低調

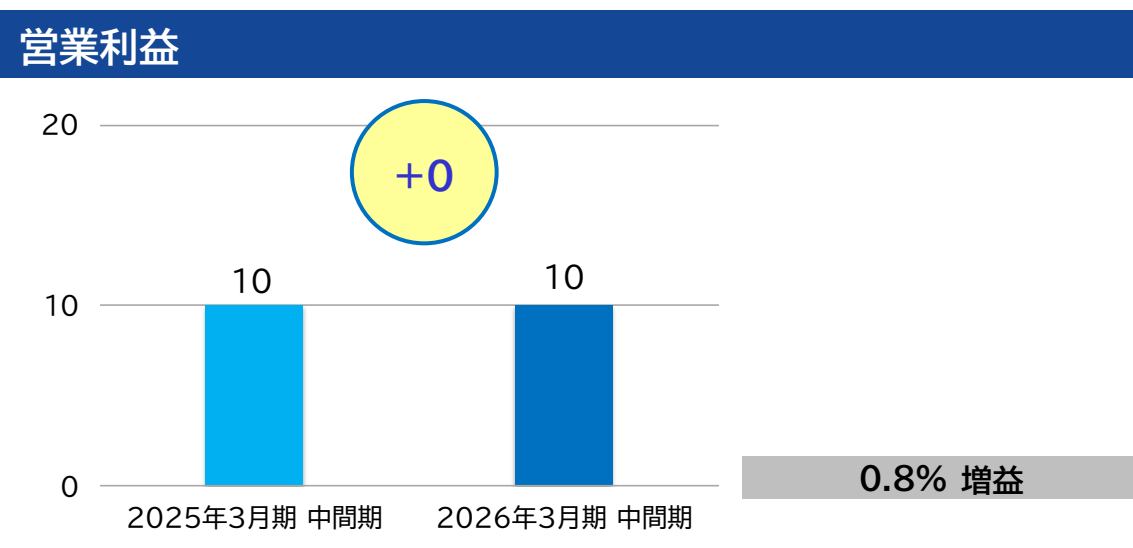
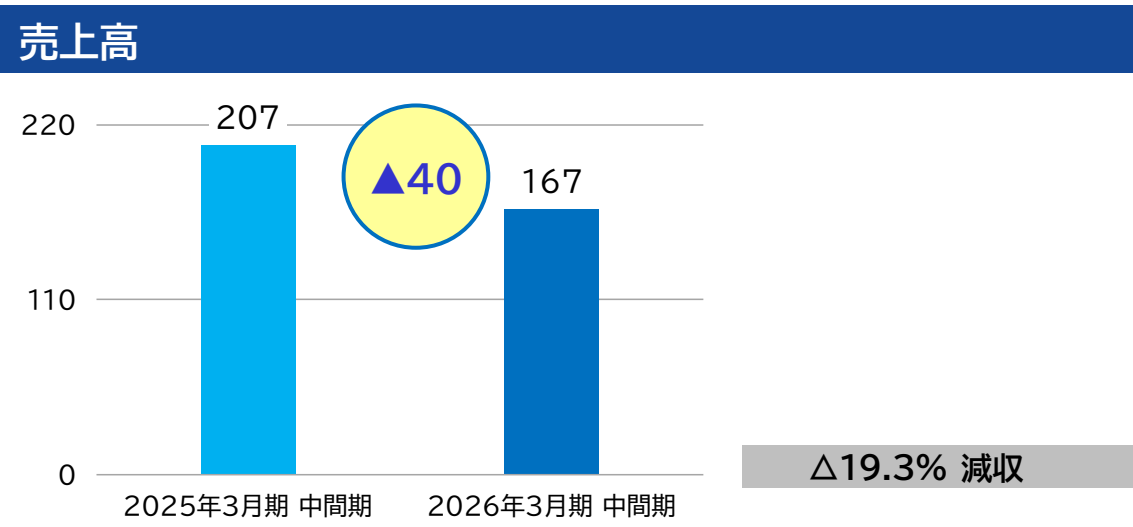
営業利益差異

機械部門限界利益 △29

(機械製品は個別受注生産品のため、価格差・数量差の差異分析を行っていない)

差異分析 その他

(単位:億円)



定性情報

売上高:減収

- 電力 :石炭価格の下落に伴い売電価格が低下

営業利益:増益

- 自家発電所が非定期修理年であるため補修費が減少

営業利益差異

価格差 ※1	△ 12
数量差	2
固定費ほか	10
計	0

※1:資材単価差含む

営業利益～中間純利益

(単位:億円)

項 目	2025年3月期 中間期 (A)	2026年3月期 中間期 (B)	差 異 (B) - (A)
営業利益	60	83	22
営業外損益	△ 42	77	118
金融収支	0	△ 12	△ 12
持分法投資損益	△ 14	79	93
うちUBE三菱セメントグループに係る持分法投資損益	81	68	△ 13
為替差損益	△ 13	12	25
その他	△ 14	△ 3	12
経常利益	19	159	140
特別損益	1	△ 19	△ 20
税金等調整前中間純利益	20	140	120
法人税等・非支配株主利益	△ 17	△ 31	△ 14
親会社株主に帰属する中間純利益	3	109	106
1株当たり中間純利益	3.28円	112.08円	108.80円

貸借対照表

(単位:億円)

項 目		2025年3月期末 (A)	2026年3月期 中間期末 (B)	差 異 (B) - (A)
資 産	流動資産	3,584	2,908	△ 676
	固定資産	5,071	5,748	678
	合 計	8,657	8,658	2
負 債	有利子負債	3,305	3,218	△ 88
	その他負債	1,231	1,199	△ 32
	計	4,537	4,417	△ 120
純 資 産	自己資本 *	3,951	4,067	116
	非支配株主持分他	169	175	5
	計	4,120	4,241	121
負債・純資産合計		8,657	8,658	2

*「自己資本」…純資産から新株予約権と非支配株主持分を除外したもの

キャッシュ・フロー計算書

(単位:億円)

項 目	2025年3月期 中間期	2026年3月期 中間期	
A.営業活動によるCF	63	316	税金等調整前中間純利益 140 減価償却費 123 運転資金の増減 130 他
B.投資活動によるCF	△ 331	△ 888	有形・無形固定資産の取得 △247 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得 △715 他
フリー・キャッシュ・フロー (A+B)	△ 268	△ 572	
C.財務活動によるCF	192	△ 161	有利子負債の増減 △100 配当金の支払 △61 他
D.現金及び現金同等物の増減 (含、換算差額等)	△ 73	△ 713	
E.現金及び現金同等物の中間期末残高	286	442	

2026年3月期 連結業績予想

2025年5月12日に公表した連結業績予想から主要項目に変更はないが、最新の市場環境等を踏まえ、セグメント別の見直しを変更。

環境要因

項 目				2025年3月期 (A)	2026年3月期 (B)	差 異 (B) - (A)
為替レート			円/\$	152.6	148.0 [150.0→150.0]	△ 4.6 [0.0]
資材価格	ナフサ	CIF	\$/t	695	645 [680→650]	△ 50 [△30]
		国産	円/KL	75,700	66,800 [72,900→67,400]	△ 8,900 [△5,500]
	豪州炭 (CIF)		\$/t	157.8	137.0 [140.0→134.0]	△ 20.8 [△6.0]
			円/t	24,069	20,280 [21,000→20,100]	△ 3,789 [△900]

[]内は前回予想の下期のみの数値→今回予想の下期のみの数値

主要項目

(単位:億円)

項 目	2025年3月期 (A)	2026年3月期 (B)	差 異 (B) - (A)	増減率
売上高	4,868	4,900	32	0.7%
EBITDA	455	550	95	21.0%
営業利益	180	250	70	38.5%
経常利益	224	375	151	67.6%
特別損益	△ 333	△ 45	288	—
親会社株主に帰属する当期純利益	△ 48	275	323	—
1株当たり当期純利益(円)	△ 49.60	283.15	332.75	—
年間配当金(円／株)	*1 110.00	*2 110.00	—	

*1: 110.00円(中間配当金55.00円、期末配当金55.00円)

*2: 110.00円(中間配当金55.00円、期末配当金55.00円)

セグメント別 売上高/営業利益

(単位:億円)

売上高	セグメント	2025年3月期 (A)	2026年3月期 (B)	差 異 (B) - (A)	増減率
	機能品	662	690	28	4.3%
	高機能ウレタン	156	505	349	223.4%
	医薬	315	230	△ 85	△ 27.0%
	樹脂・化成品	2,736	2,570	△ 166	△ 6.1%
	機械	869	740	△ 129	△ 14.8%
	その他	392	355	△ 37	△ 9.4%
	調整額	△ 261	△ 190	71	—
	計	4,868	4,900	32	0.7%
営業利益	機能品	117	125	8	7.1%
	高機能ウレタン	△ 2	10	12	—
	医薬	12	0	△ 12	△ 100.0%
	樹脂・化成品	△ 7	95	102	—
	機械	79	65	△ 14	△ 17.5%
	その他	21	15	△ 6	△ 27.1%
	調整額	△ 38	△ 60	△ 22	—
	計	180	250	70	38.5%

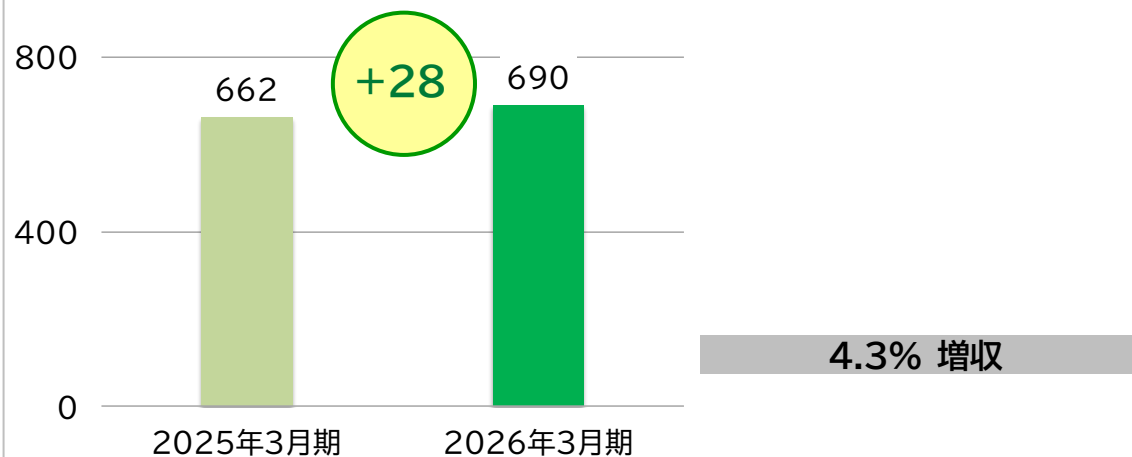
(注) 2026年3月期より、「機能品」「樹脂・化成品」「機械」「その他」の4区分から「機能品」「高機能ウレタン」「医薬」「樹脂・化成品」「機械」「その他」の6区分に変更しています。

なお、2025年3月期実績は、変更後の区分方法により作成したものです。

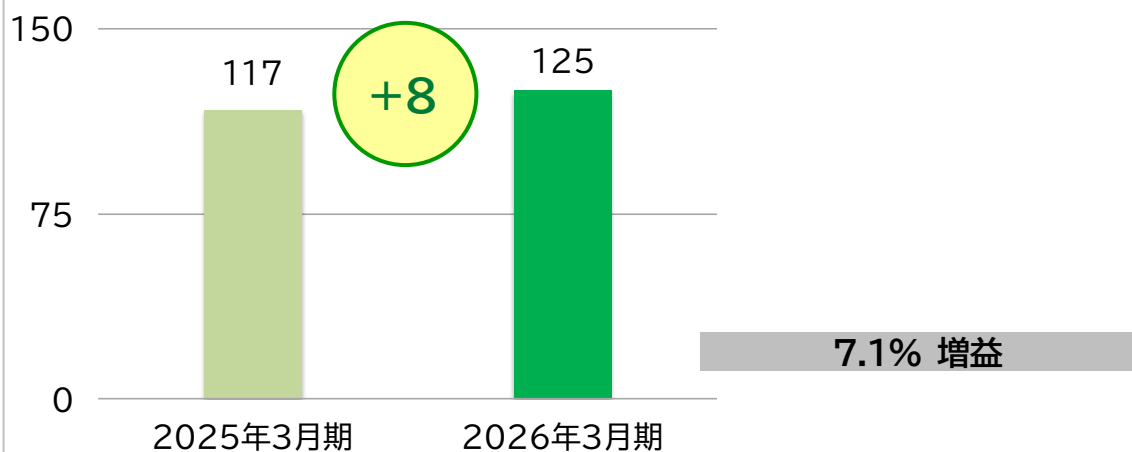
差異分析 機能品

(単位:億円)

売上高



営業利益



5月12日に公表した業績予想からの修正

売上高:下振れ (710→690, ▲20)

- 分離膜: バイオメタン製造向け脱炭酸膜の販売が、一部顧客における在庫調整等の影響を受け減少

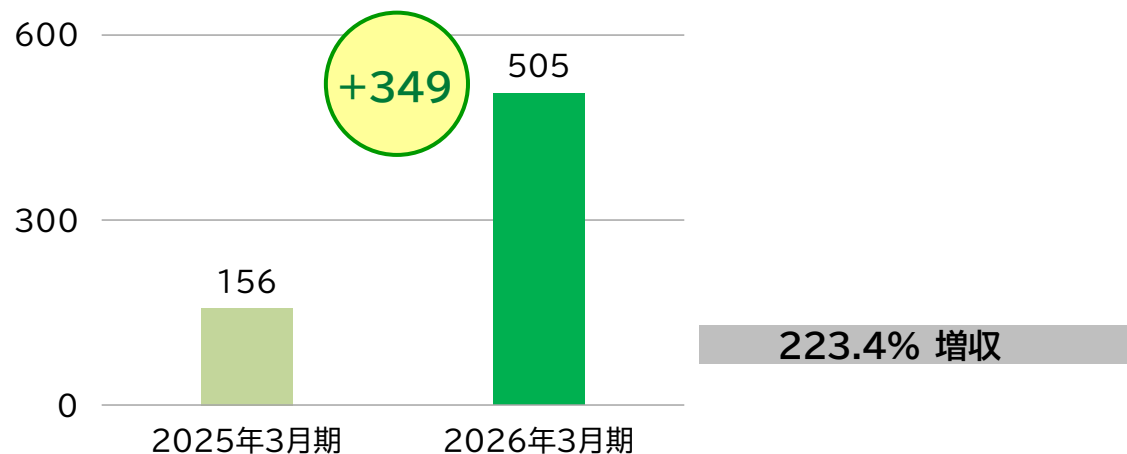
営業利益:下振れ (135→125, ▲10)

- 分離膜: バイオメタン製造向け脱炭酸膜の販売が、一部顧客における在庫調整等の影響を受け減少

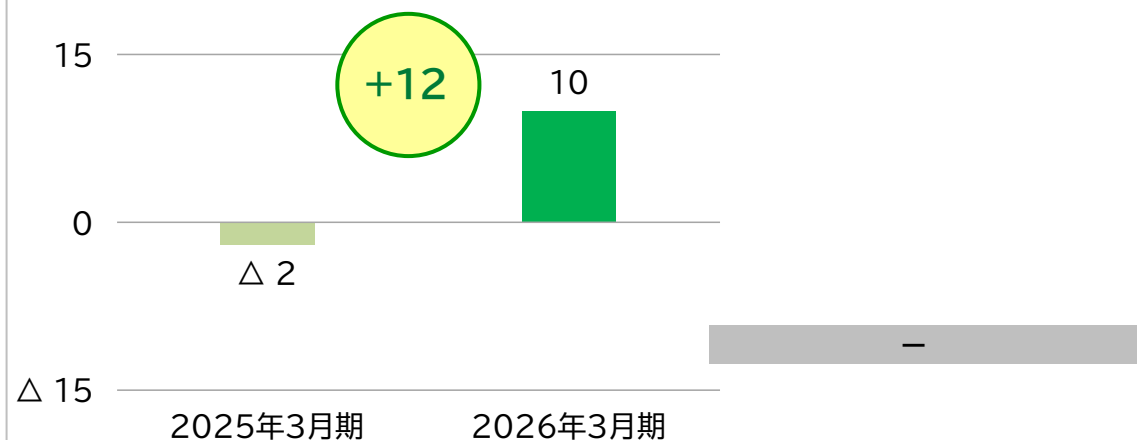
差異分析 高機能ウレタン

(単位:億円)

売上高



営業利益



5月12日に公表した業績予想からの修正

売上高:下振れ (510→505, ▲5)

- 高機能コーティング: 上期に販売が低調に推移

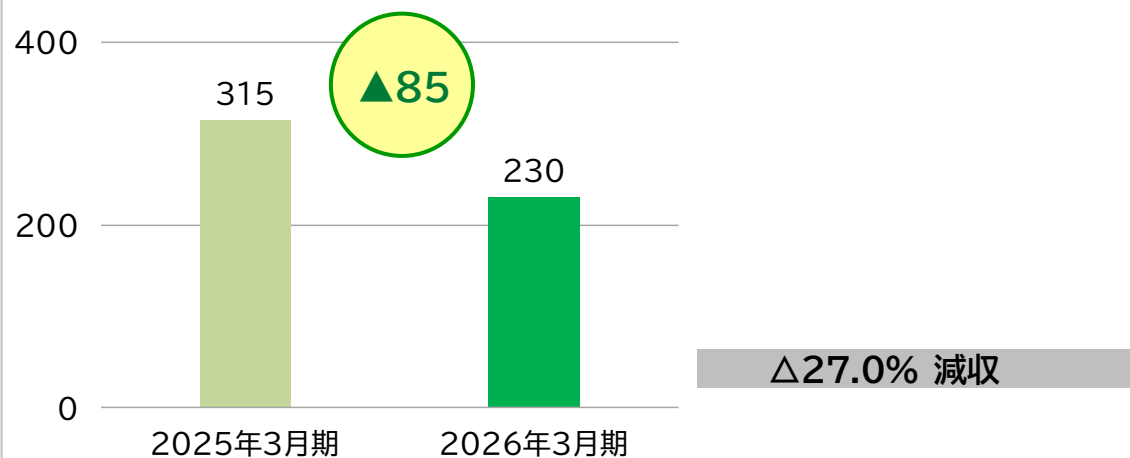
営業利益:下振れ (20→10, ▲10)

- ウレタンシステムズ: 事業取得後の統合(PMI)に係る費用が増加

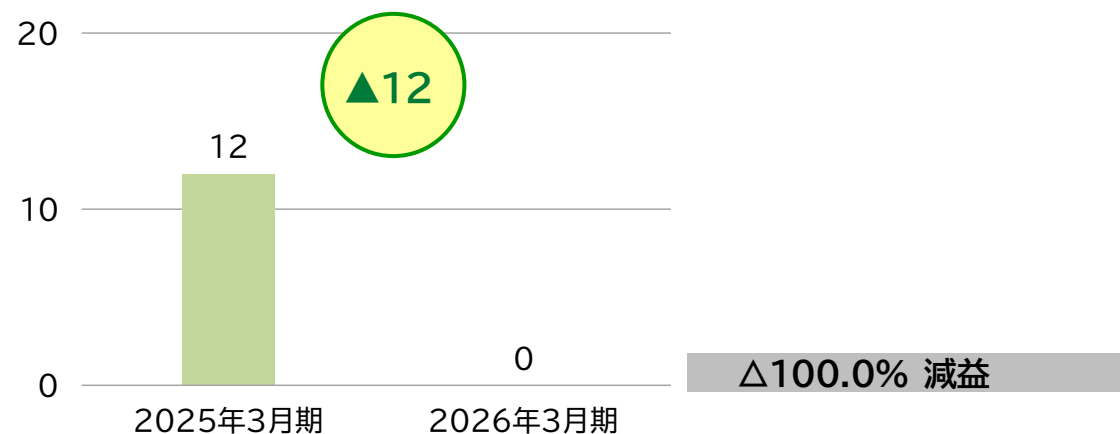
差異分析 医薬

(単位:億円)

売上高



営業利益



5月12日に公表した業績予想からの修正

売上高:下振れ (240→230, ▲10)

- 受託品の販売数量が減少

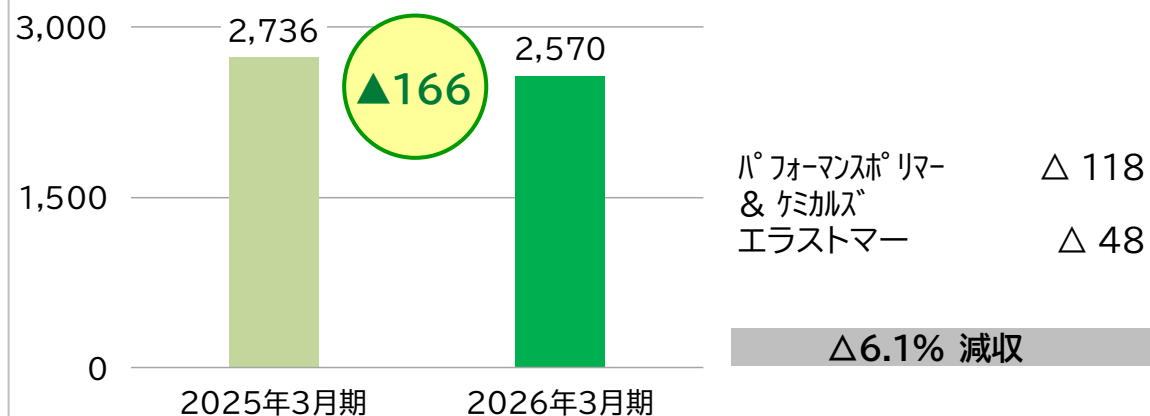
営業利益:下振れ (10→0, ▲10)

- 受託品の販売数量が減少

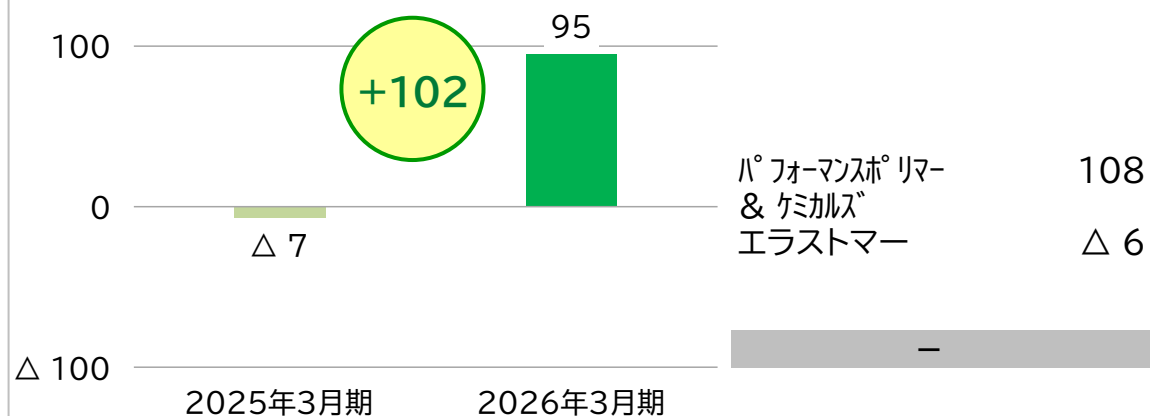
差異分析 樹脂・化成品

(単位:億円)

売上高



営業利益



5月12日に公表した業績予想からの修正

売上高:修正なし (2,570→2,570, 0)

パフォーマンスポリマー & ケミカルズ

- ・ラクタム: 販売数量減少、販売価格下落
- ・C1ケミカル: ライセンス収入が増加

営業利益:上振れ (60→95, +35)

パフォーマンスポリマー & ケミカルズ

- ・ラクタム・硫安: 採算が改善
- ・C1ケミカル: ライセンス収入が増加

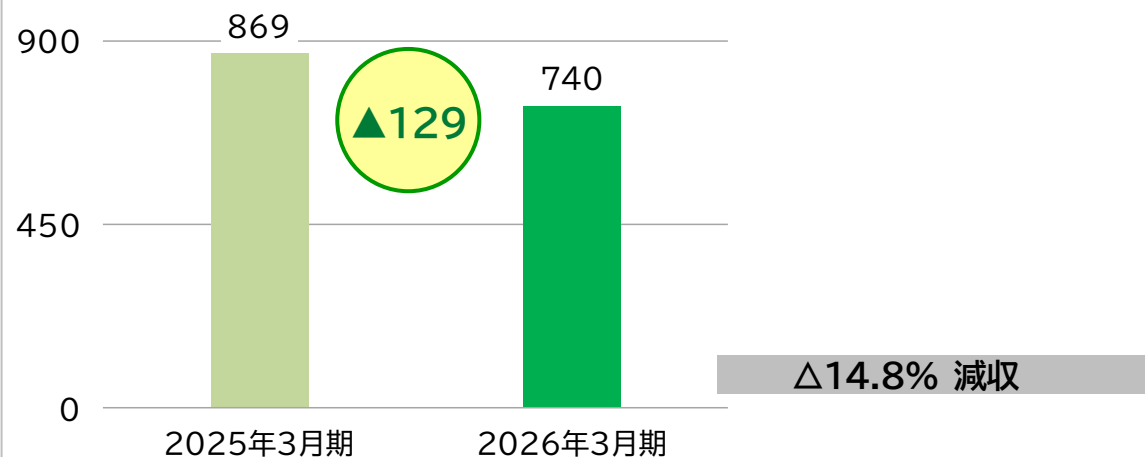
エラストマー

- ・原料価格が下落

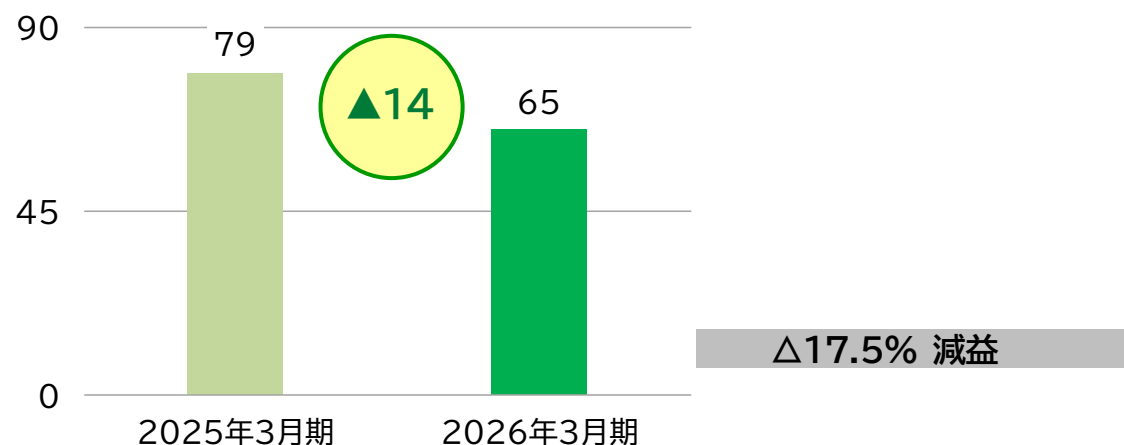
差異分析 機械

(単位:億円)

売上高



営業利益



5月12日に公表した業績予想からの修正

売上高: 下振れ (760→740, ▲20)

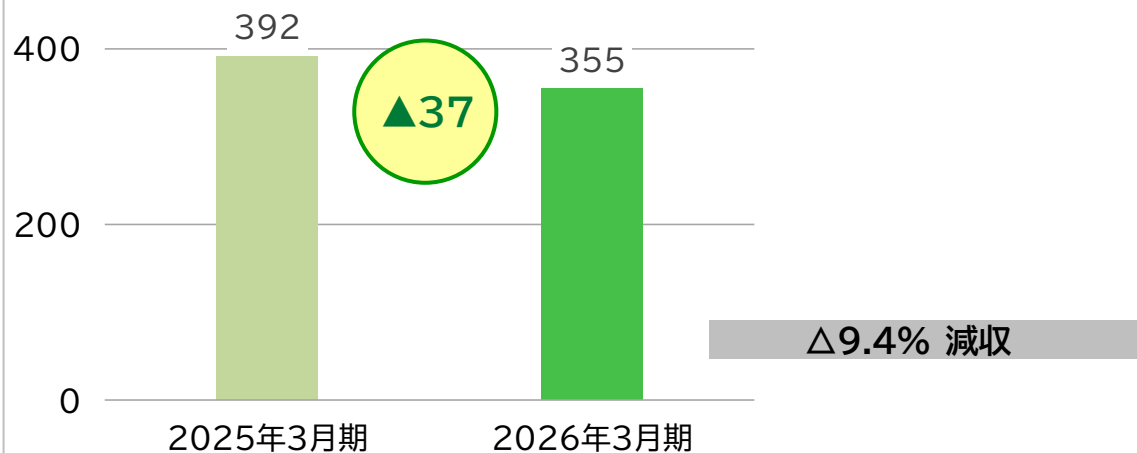
- 成形機、産機の製品販売が低調

営業利益: 修正なし (65→65, 0)

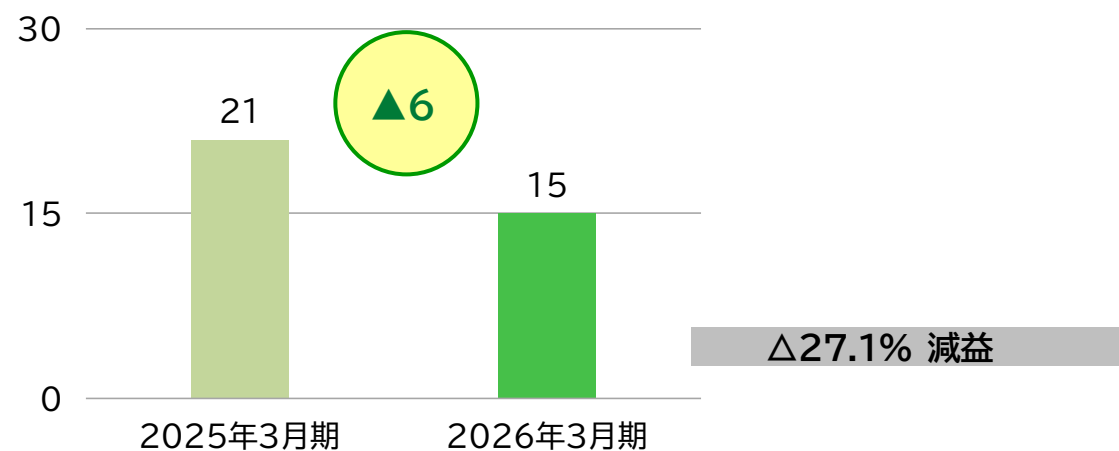
差異分析 その他

(単位:億円)

売上高



営業利益



5月12日に公表した業績予想からの修正

売上高:修正なし (355→355, 0)

営業利益:下振れ (20→15, ▲5)

- ・ 石炭価格の下落に伴い売電価格が低下

參考資料

業績予想 差異 売上高

(単位:億円)

セグメント	2025/5/12 発表業績予想 (A)	2025/11/7 発表業績予想 (B)	差異 (B) - (A)	差異要因
機能品	710	690	△ 20	
高機能ウレタン	510	505	△ 5	
医薬	240	230	△ 10	
樹脂・化成品	2,570	2,570	—	パフォーマンスポリマー&ケミカルズ △ 10 エラストマー 10
機械	760	740	△ 20	
その他	355	355	—	
調整額	△ 245	△ 190	55	
計	4,900	4,900	—	

業績予想 差異 営業利益

(単位:億円)

セグメント	2025/5/12 発表業績予想 (A)	2025/11/7 発表業績予想 (B)	差異 (B) - (A)	差異要因
機能品	135	125	△ 10	
高機能ウレタン	20	10	△ 10	
医薬	10	0	△ 10	
樹脂・化成品	60	95	35	パフォーマンスポリマー&ケミカルズ 15 エラストマー 20
機械	65	65	－	
その他	20	15	△ 5	
調整額	△ 60	△ 60	－	
計	250	250	－	

セグメント別 上期・下期 内訳

(単位:億円)

セグメント	売上高			営業利益		
	上期実績	下期予想	通期	上期実績	下期予想	通期
機能品	298	392	690	43	82	125
高機能ウレタン	170	335	505	△ 6	16	10
医薬	105	125	230	△ 5	5	0
樹脂・化成品	1,185	1,385	2,570	42	53	95
機械	298	442	740	19	46	65
その他	167	188	355	10	5	15
調整額	△ 96	△ 94	△ 190	△ 21	△ 39	△ 60
計	2,127	2,773	4,900	83	168	250

主要項目 進捗率

(単位:億円)

項 目	2025年3月期 (A)		2026年3月期 (B)		差 異 (B) - (A)	
		中間期実績 (進捗率)		中間期実績 (進捗率)		中間期実績
売上高	4,868	2,430 (49.9%)	4,900	2,127 (43.4%)	32	△ 303
EBITDA	455	198 (43.5%)	550	213 (38.8%)	95	16
営業利益	180	60 (33.5%)	250	83 (33.0%)	70	22
経常利益	224	19 (8.5%)	375	159 (42.4%)	151	140
親会社株主に帰属する 中間(当期)純利益	△ 48	3 (-%)	275	109 (39.6%)	323	106

売上高 四半期業績推移

(単位:億円)

セグメント	2026年3月期					通期予想	進捗率
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	累計		
機能品	150	148	—	—	298	690	43.2%
高機能ウレタン	32	139	—	—	170	505	33.7%
医薬	43	62	—	—	105	230	45.5%
樹脂・化成品	597	588	—	—	1,185	2,570	46.1%
機械	145	153	—	—	298	740	40.2%
その他	86	81	—	—	167	355	47.0%
調整額	△ 48	△ 48	—	—	△ 96	△ 190	—%
計	1,005	1,122	—	—	2,127	4,900	43.4%

営業利益 四半期業績推移

(単位:億円)

セグメント	2026年3月期					通期予想	進捗率
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	累計		
機能品	19	24	－	－	43	125	34.0%
高機能ウレタン	△ 4	△ 1	－	－	△ 6	10	－%
医薬	△ 6	1	－	－	△ 5	0	－%
樹脂・化成品	13	29	－	－	42	95	44.0%
機械	11	8	－	－	19	65	29.0%
その他	5	5	－	－	10	15	69.1%
調整額	△ 8	△ 12	－	－	△ 21	△ 60	－%
計	30	53	－	－	83	250	33.0%

売上高 四半期比較

(単位:億円)

セグメント	2026年3月期 第1四半期 (A)	2026年3月期 第2四半期 (B)	差異 (B) - (A)	差異要因
機能品	150	148	△ 1	
高機能ウレタン	32	139	107	
医薬	43	62	19	
樹脂・化成品	597	588	△ 9	パフォーマンスポリマー&ケミカルズ △ 9 エラストマー △ 0
機械	145	153	7	
その他	86	81	△ 5	
調整額	△ 48	△ 48	1	
計	1,005	1,122	118	

営業利益 四半期比較

(単位:億円)

セグメント	2026年3月期 第1四半期 (A)	2026年3月期 第2四半期 (B)	差異 (B) - (A)	差異要因
機能品	19	24	5	
高機能ウレタン	△ 4	△ 1	3	
医薬	△ 6	1	6	
樹脂・化成品	13	29	15	パフォーマンスポリマー&ケミカルズ 17 エラストマー △ 2
機械	11	8	△ 2	
その他	5	5	△ 0	
調整額	△ 8	△ 12	△ 4	
計	30	53	23	

ポートフォリオ別 売上高/営業利益

(単位:億円)

	ポートフォリオ	2025年3月期 中間期 (A)	2026年3月期 中間期 (B)	差異 (B) - (A)
売上高	スペシャリティ事業	874	866	△ 8
	構造改革事業	1,014	886	△ 128
	機械事業	430	298	△ 133
	その他(調整額を含む)	112	77	△ 35
	計	2,430	2,127	△ 303
営業利益	スペシャリティ事業	112	89	△ 24
	構造改革事業	△ 64	△ 11	53
	機械事業	30	19	△ 11
	その他(調整額を含む)	△ 18	△ 14	3
	計	60	83	22

(注) 2026年3月期より、ポートフォリオ区分を変更しています。なお、2025年3月期中間期実績は、変更後の区分方法により作成したものです。

UBE三菱セメント

■UBE三菱セメント(株) 連結損益計算書

(単位:億円)

項 目		2025年3月期 中間期	2026年3月期 中間期	2026年3月期 通期予想 *1
売上高	国内事業	1,885	1,796	3,710 (3,800)
	海外事業	1,003	880	1,690 (1,900)
	計	2,888	2,676	5,400 (5,700)
営業利益	国内事業	78	91	240 (220)
	海外事業	200	165	270 (300)
	計	278	255	510 (520)
経常利益		286	271	510 (520)
親会社株主に帰属する 中間(当期)純利益		156	131	260 (280)

■UBE(株) 持分法投資損益

持分法による投資損益	81	68
------------	----	----

■UBE三菱セメント(株) 定量情報

項 目		2025年3月期 中間期	2026年3月期 中間期	2026年3月期 通期予想 *1
セメント(国内)総需要	(万t)	1,634	1,535	3,100 (3,200)
セメント(国内)販売数量	(万t)	387	375	748 (775)
セメント(米国)販売数量	(万st)	84	81	158 (170)
生コン(米国)販売数量	(万cy)	349	313	583 (670)
一般炭価格(参考指標)*2	(\$ /t)	138	105	112 (150)
ドル為替レート	(円/ドル)	153	146	148 (145)

*1 ()内は2025年5月12日に公表した数値。

*2 上記一般炭価格は参考指標であり、実際の調達価格とは異なる。

(参考)2026年3月期中間期 連結貸借対照表

(単位:億円)

総資産	8,065	有利子負債	1,894	自己資本	3,548
自己資本比率	44.0%	D/Eレシオ	0.53倍		

- 国内事業：1Qでの電力事業における定期修理影響等による減益はあるものの、セメント値上げや熱エネルギーコスト低下の効果により、上期の国内事業全体では減収増益となった。2025年度通期においても、セメントの販売数量減・価格改善の傾向が継続する見通しであり、対前年度で減収増益を見込む。
- 海外事業：米国事業は、1Qの減益に加え、引き続き域内需要が弱含みで推移したことにより上期で減収減益となった。豪州石炭事業は、販売価格下落の影響により、上期で減収減益となった。2025年度通期においても、上期と同様の事業環境が続く見通しであり、米国・豪州ともに対前年度で減収減益を見込む。

連結主要指標

(単位:億円)

項目	2025年3月期 中間期	2026年3月期 中間期	2026年3月期通期 <予想>	2025年3月期通期
設備投資	269	212	860	607
減価償却費	136	123	270	272
研究開発費	49	58	125	99
事業利益*	53	166	420	270
有利子負債残高	2,390	3,218	3,800	3,305
自己資本	3,991	4,067	4,100	3,951
総資産	7,962	8,658	9,500	8,657
D/Eレシオ(倍)	0.60	0.79	0.93	0.84
自己資本比率(%)	50.1	47.0	43.2	45.6
売上高営業利益率(%)	2.5	3.9	5.1	3.7
総資産事業利益率(%)	—	—	4.6	3.3
自己資本当期純利益率(%)	—	—	6.8	△ 1.2
投下資本利益率(%)	—	—	4.4	3.0

* 事業利益: 営業利益 + 受取利息・受取配当金 + 持分法による投資損益

主要連結子会社

(単位:億円)

会 社 名	事 業 内 容	売上高 2026年3月期 中間期	営業利益 対2025年3月期 中間期
UBE CORPORATION EUROPE S.A.U.	コンポジット、ナイロンポリマー、カプロラクタム、硫安、高機能コーティング等の製造・販売	260	→
UBE Chemicals (Asia) Public Company Limited	コンポジット、ナイロンポリマー、カプロラクタム、硫安の製造・販売	186	↓
THAI SYNTHETIC RUBBERS COMPANY LIMITED	ポリブタジエン(合成ゴム)の製造・販売	118	↑
宇部フィルム株式会社	プラスチックフィルム製品の製造・販売	53	↑
宇部エクシモ株式会社	電子・情報通信関連製品等の製造・販売	65	↑
UBEマシナリー株式会社	成形機、産業機械、橋梁等の製造・販売 成形機、産業機械のアフターサービス	221	↓

(注) ↑ ↓は1億円以上の増減を示す

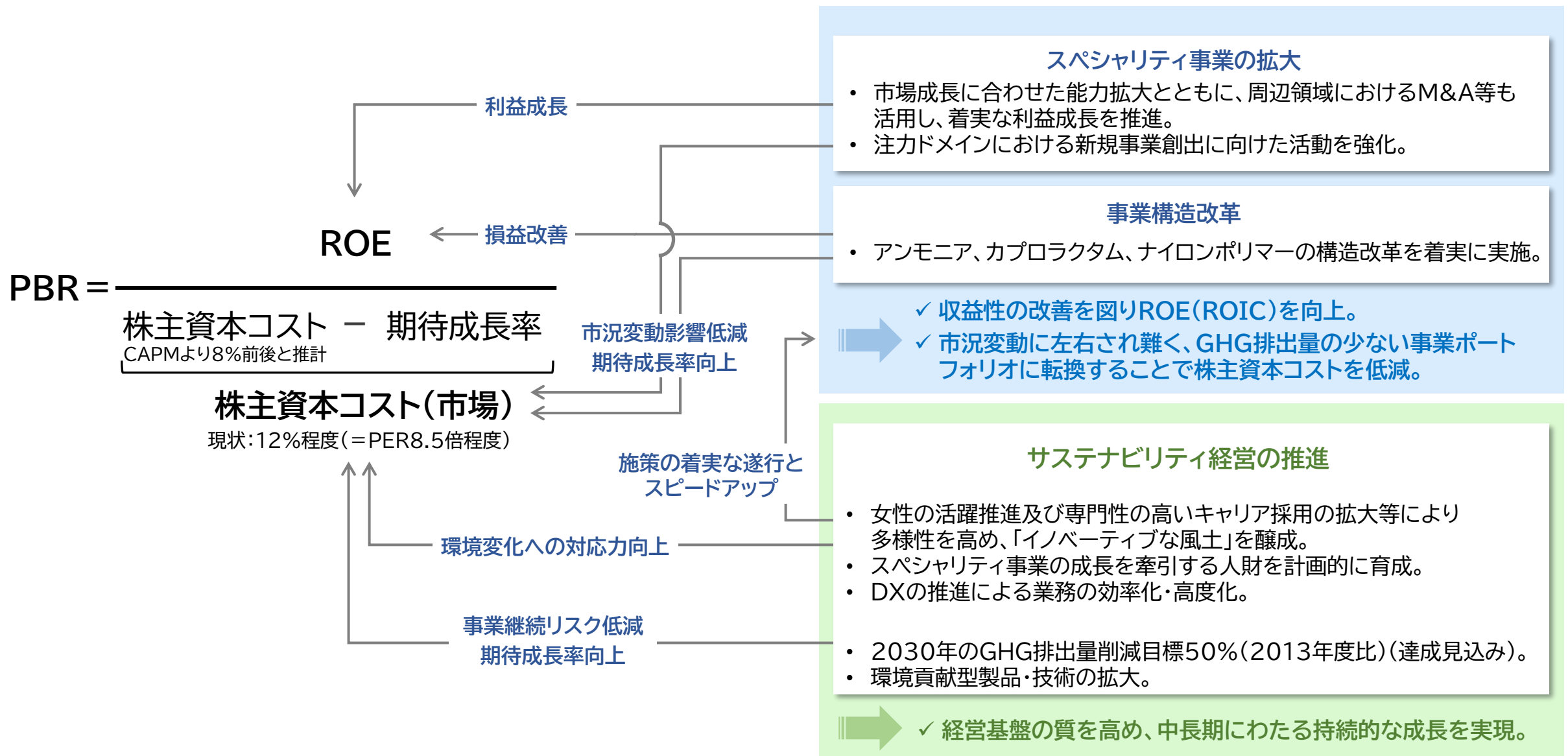
新製造設備の稼働

成長投資		能力増	拠点	状況
ポリイミド	フィルム製造設備	20%増	日本 (山口県)	認証取得後、速やかに営業運転開始予定
分離膜	中空系、モジュール製造設備	80%増	日本 (中空系:山口県) (モジュール:大阪府)	中空系:11月から営業運転開始予定 モジュール:営業運転開始済み

事業構造改革の施策 – アンモニア、カプロラクタム、ナイロンポリマーの生産撤退・縮小

施策		決定済み施策
タイ	カプロラクタム	2026年3月に生産停止(従来は“2027年3月まで”)
	ナイロンポリマー	2026年3月に生産縮小*(従来は“2027年3月まで”)
日本	カプロラクタム	2027年3月に生産停止
	ナイロンポリマー	2027年3月に生産停止
	アンモニア	2028年3月に生産停止

* 現状の2系列を1系列に縮小



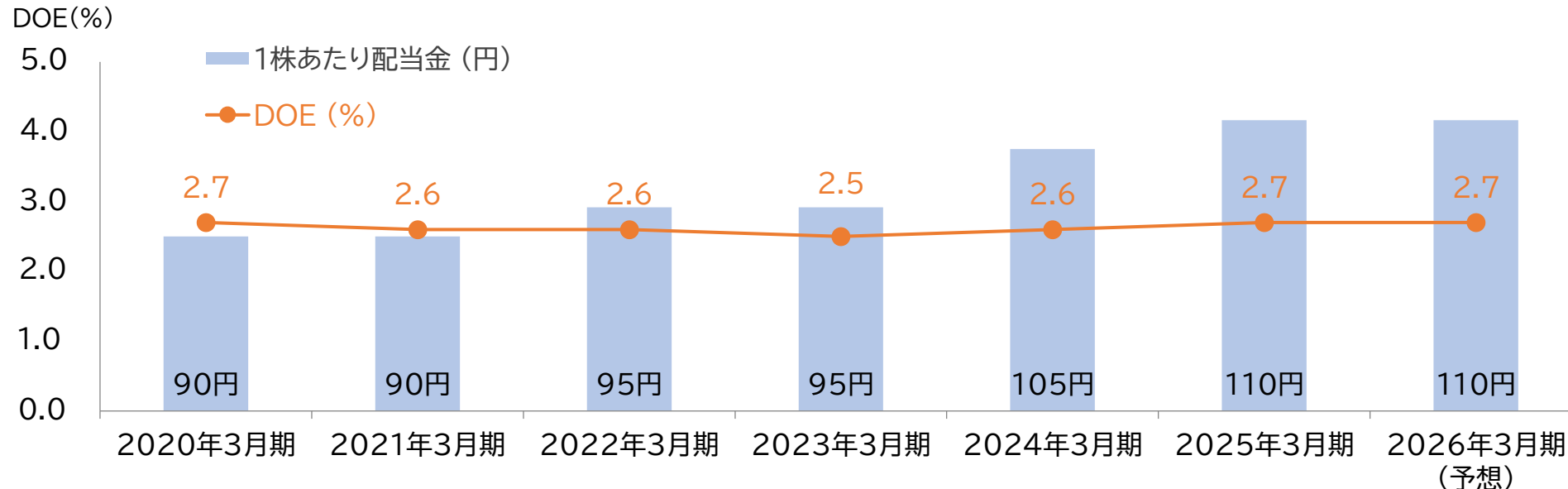
- 安定配当を基本方針とし、株主資本配当率(DOE)を2.5%以上と設定。
- 中期経営計画の進捗状況を見極めたうえで、後半3ヵ年には引き上げを目指す。

前中期経営計画
1st Stage(2022～2024年度)

株主資本配当率(DOE) 2.5%以上
連結総還元性向 30%以上(3ヵ年平均)

現中期経営計画
2nd Stage(2025～2030年度)

株主資本配当率 **2.5%以上**
(累進配当を目指す)



定常的な損益変動要因

時期	セグメント	要因
第1四半期	樹脂・化成品	アンモニア工場(宇部地区)で隔年(偶数年)に定期修理を実施。 樹脂・化成品セグメントの営業利益にマイナス影響。
	全社	自家発電設備(宇部地区)で隔年(偶数年)に定期修理を実施。 全社の営業利益にマイナス影響。
第2四半期後半 ～第3四半期	樹脂・化成品	ナイロン原料カプロラクタムの販売数量が衣料品の秋・冬物需要の影響を受け増加。 カプロラクタム事業の営業利益にプラス影響。
第4四半期	樹脂・化成品	合成ゴム工場(千葉地区)で毎年定期修理を実施。 エラストマー事業の営業利益にマイナス影響。
	機械	売上、利益の計上が集中。 成形機、産機事業の営業利益にプラス影響。

- **UBE株式会社**

- 2026年3月期 第3四半期 決算発表

- ・ 2026年2月4日 15:30

- 2026年3月期 第3四半期 アナリスト・機関投資家向け決算説明会

- ・ 2026年2月4日 18:00 ~ 18:45

- **UBE三菱セメント株式会社**

- 2026年3月期 第2四半期(中間期) 決算説明会

- ・ 2025年11月18日 15:30 ~ 16:10

なお、この予定は都合により予告なく変更となる可能性があります。



本資料における将来の見通しに関する記載は、当社が現時点で合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績はさまざまな要因の変化によって見通しと大きく異なる場合もありえますことをご承知願います。そのような要因としては、主要市場の経済状況、製品の需給、原燃料価格、金利、為替相場等があります。但し、業績に影響を及ぼす要因はこれらに限定されるものではありません。

本資料の著作権は当社に帰属します。本資料のいかなる部分も書面による当社の事前の承諾なく、複製又は転用等を行うことはできません。